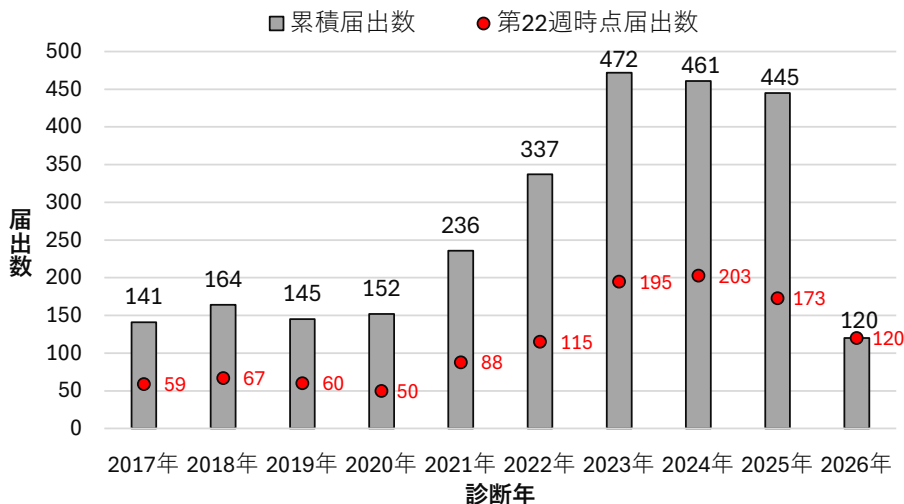


【今週の注目疾患】

《梅毒》

2026年第22週に県内医療機関から5例の届出があり、累計120例となった。本県における状況は、2021年から届出数は顕著に増加している。現状と過去の同時期との比較では、2023年から2025年より減少しているが、依然、2021年、2022年より多く、引き続き発生動向に注意が必要である。（図1）

図1：2017年から2026年第22週までの千葉県の梅毒診断年別届出数 n=2673



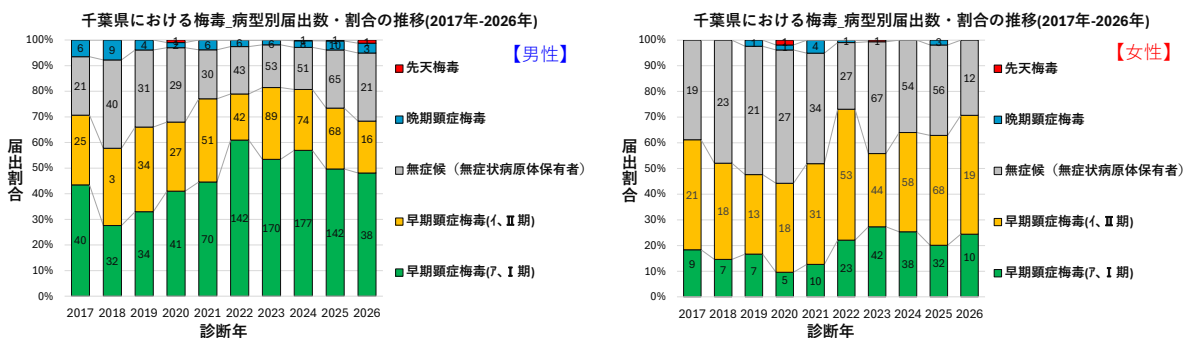
2026年に届出のあった120例の概要は以下のとおり。

性別は、男性79例（66%）、女性41例（34%）であった。

年代別は、男性では、30代と40代が各19例（24%）で最も多く、次いで20代18例（23%）、50代16例（20%）と続いた。女性では、20代が24例（59%）と最も多く、次いで10代6例（15%）であった。

病型別は、男性では、早期顕症梅毒第Ⅰ期（以下、第Ⅰ期）が38例（48%）と最も多く、次いで無症状病原体保有者21例（27%）、早期顕症梅毒第Ⅱ期（以下、第Ⅱ期）16例（20%）であり、先天梅毒も1例確認された。女性では、第Ⅱ期が19例（46%）と最も多く、次いで無症状病原体保有者12例（29%）、第Ⅰ期10例（24%）であった。男性において2023年以降、早期で探知される症例（第Ⅰ期＋第Ⅱ期）の割合が減少傾向にある。（図2）

図2：千葉県における梅毒\_病型別届出数・割合の推移（2017年～2026年）



梅毒は早期発見・早期治療をすることで治すことができる感染症です。早期発見・早期治療、そして再感染予防のためにも、パートナーもともに検査を受けることが推奨されます。

県では保健所等において無料・匿名の検査を実施しています。また、令和 8 年 6 月 14 日（日）には、休日街頭 HIV 検査が実施される予定であり、梅毒の検査を受けることも可能です。詳細は県ホームページ等をご確認ください<sup>1,2)</sup>。

■参考・引用

1) 千葉県：千葉県内のエイズ等相談・検査

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/aids/soudan.html>

2) 千葉県：休日街頭 HIV 検査について

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/kansenshou/kyuujitu.html>